

企業ニュース 河合楽器製作所

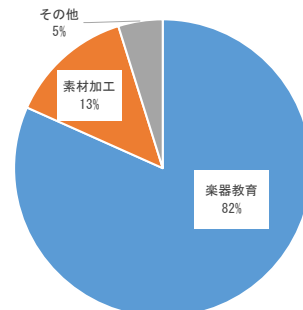
(東証1部: 7952) <https://www.kawai.co.jp/>

作成者: 兵藤三郎

国際的なピアノメーカー

1927年、河合楽器研究所を創立し、ピアノの製造販売を開始した。1928年、グランドピアノ第一号完成。1929年、河合楽器製作所に改称、オルガン(1930年)やハーモニカ(1934年)の製造も開始した。1935年法人組織に改組(合名会社化)、1951年に株式会社に改組した。ヤマハ(7951)とともに日本が誇る国際的なピアノメーカー。当社のピアノは「ショパン国際ピアノコンクール」における公式ピアノに採用されており、2021年に開催された第18回では入賞者2名(第2位と第6位、他ファイナリスト1名)が「SK-EX」を使用した。ピアノを中心とした楽器事業の他、カワイ音楽教室などの教育関連事業や、ピアノで培った技術を生かし素材加工事業などを展開している。素材加工事業は精密圧延異形板などを展開する金属事業、高級自動車向け内装パネルなどを展開する塗装事業、防音室の製造・販売を行う音響事業で構成されている。

◇21.3期売上高構成比



(出所)河合楽器製作所資料よりCAM作成

鍵盤楽器好調が業績をけん引

22.3期・第2四半期累計(4-9月)の連結業績は、売上高が414億円、前年同期比47%増、営業利益が33億円、前年同期1億円から大幅増。世界各地での巣ごもり需要を背景に鍵盤楽器が好調に推移。前年同期はコロナ感染拡大に伴う休講などで低迷した音楽教室や体育教室も大幅改善した。素材加工事業も市場が回復し、大幅増収増益となった。第1四半期(4-6月)に上方修正した上期計画値をさらに売上高で21億円、営業利益で9億円上振れて着地した。

22.3期連結業績の会社計画は、売上高が815億円、前期比21%増、営業利益が51億円、同46%増。第2四半期累計(4-9月)における業績及び、物流コストや半導体部品不足等の調達コスト増加など今後の動向を踏まえ、売上高で30億円、営業利益で3億円上方修正した。通期業績予想に対する上期実績の進捗率は売上高で51%、営業利益で65%。ピアノの販売構成比はアコースティックが主力(7割程度)で、半導体不足の影響は比較的少ないと考えられ、保守的な修正であろう。素材加工事業でも堅調な受注推移の継続が見込めよう。

[株価動向・投資判断]

半導体不足や、コスト上昇の懸念材料はあるが、需要環境は良好でさらなる業績向上が期待できよう。ショパンコンクールでの演奏者上位入賞も当社の評価向上に寄与しよう。

<7952 河合楽器業績:日本基準>

[今期予想の配当金は発行会社予想]

	売上高	営業利益	経常利益	当期利益	1株利益	1株配当
	百万円(伸び率)	百万円(伸び率)	百万円(伸び率)	百万円(伸び率)	円	円
20.3	71,302(▲1)	2,960(▲19)	3,118(▲20)	1,545(▲23)	180.2	55.00
21.3	67,520(▲5)	3,492(▲18)	4,002(▲28)	2,579(▲67)	300.2	55.00
22.3 予	81,500(▲21)	5,100(▲46)	5,300(▲32)	3,400(▲32)	395.6	55.00



[主要株価指標] (売買単位: 100株)	
株価(2021/11/12)	3,570 円
年初来高値(高値日)	4,575 円(21/7/30)
同安値(安値日)	2,658 円(21/2/1)
予想PER(22.3予)	9.0 倍
1株株主資本(PBR算出用)	3,525.6 円
PBR	1.01 倍
予想配当利回り	1.54 %
(1株当たり配当金年55.00円)	
ROE(21.3)	9.7 %
発行済み株式数	901 万株